

「気象庁業務評価レポート(平成 28 年度版)」の公表について

気象庁の施策や業務について、平成 27 年度の実績評価と、平成 28 年度の業務目標などをまとめた「気象庁業務評価レポート(平成 28 年度版)」を公表しました。

気象庁は、気象業務の健全な発達を図ることにより、災害の予防、交通安全の確保、産業の興隆等に寄与することを使命としています。これらの使命を果たすための気象庁の業務が効果的・効率的に実施されているかを評価・検証し、更なる改善につなげることを目的に業務評価を実施しており、その概要をまとめた「気象庁業務評価レポート」を平成 14 年度から毎年公表してきました。

このたび、平成 27 年度の実績評価と平成 28 年度の業務目標、平成 27 年度に実施した気象情報の利活用状況調査などをまとめた「気象庁業務評価レポート(平成 28 年度版)」を公表しました。レポートの全文は、気象庁ホームページからダウンロードできます。

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/hyouka/hyouka-report/28report/28report_index.html

(平成 28 年度版レポートの主な内容)

- 「台風予報の精度(台風中心位置の予報誤差)」は、平成 27 年度の取組として主に熱帯域における数値予報の改善や数値予報資料の特性を踏まえた台風進路予測技術の改善により予報精度が向上し、当初の目標を達成することができました。
- 平成 27 年度の実績評価のうち、「次期静止気象衛星の整備」は、気象庁ホームページのひまわり 8 号の衛星画像アクセス数がひまわり 7 号時の 2 倍超となるなど国民の関心の高い取組ができました。
- 二重偏波レーダーの全国展開に向けた研究・技術開発として、平成 28 年度は、当該レーダーデータから降水強度を推定する技術を開発し、その精度評価を行うことを新たな目標に設定しました。

< 本件に関する問い合わせ先 >

気象庁総務部総務課
業務評価室長 03-3212-8341 内線 2129

「気象庁業務評価レポート（平成 28 年度版）」の構成

第 1 章 気象庁の業務評価

- 1 気象庁の使命・ビジョンと業務評価の目的
- 2 気象庁の業務目標
- 3 業務評価の種類
- 4 業務評価に関する情報の公表

第 2 章 国土交通省の外局としての評価

- 1 政策アセスメント（事業評価方式）
- 2 政策チェックアップ（実績評価方式）
- 3 政策レビュー（総合評価方式）
- 4 個別研究開発課題評価（事業評価方式）
- 5 実施庁評価

第 3 章 気象庁基本目標チェックアップ

- 1 平成 27 年度業務評価の結果
- 2 平成 28 年度業務評価の目標
- 3 気象庁基本目標チェックアップ

第 4 章 気象研究所研究開発課題評価

第 5 章 気象情報の利活用状況調査

- 1 気象情報の利活用状況調査について
- 2 緊急地震速報（予報）の利活用実態調査

第 6 章 気象庁気象業務の評価に関する懇談会